

議会だより ふだい



村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

どんな夢見てるのかな…

(11月26日、はまののちいさな園内)

総額39億円の決算を認定 — 9月定例会 2頁

村の魅力発信、人口減少問題など問う — 3議員が一般質問 4頁

村の施策を再チェック! — 決算特別委員会 8頁

請願・陳情、第6回・第8回臨時会 10頁



10月18日に行われた「みちのく潮風トレイルウォーキング」(白井海岸)

総額39億円の決算を認定

村議会9月定例会が9月16日から18日の3日間開かれ、平成27年度の一般会計と3特別会計の補正予算や条例の一部改正、副村長の選任同意など村から7議案が提出され、慎重な審議の結果、全員賛成で可決しました。平成26年度の決算は、決算特別委員会(坂下重雄委員長)を設けて集中審査。総額39億円を認定しました。陳情は1件を採択し、議員発議案として本会議に提出。全員賛成で可決しました。一般質問は3人が登壇し村の重要施策を問いました。



中学生や一般の人が傍聴する中で行われた9月定例会

「くろさき荘」に ネット環境整備

平成27年度の一般会計補正予算では、歳入歳出に6031万6千円を増額し、総額32億5534万5千円にしました。

今回の補正では、地方創生に関連する国の交付金を活用し、国民宿舎くろさき荘に無線でインターネットが利用できる環境を整備するほか、観光客にも活用できる14人乗りのバス1台を購入する予定です。(主な歳出は3頁表参照)
条例の改正では、マイナンバー導入に伴う個人情報保護条例の一部改正と手数料条例の一部改正などが提案され、可決しました。

主な質疑

マイナンバーの説明を

中上議員 マイナンバー制度によるセキュリティ効果を図るといふことだが、具体的な内容はどうか、確実に大丈夫なのか。個人情報が出てしまった場合の責任はどこになるのか。
道下地域創生室長 セキュリティーの内容はファイヤーウォール(不正侵入防止ソフト)を新規に設置、内部系は生体認証

システム、個人番号受付用の機器の導入をする。
100%防げるかどうかは、はっきりとは言えることではないかと思う。保証については、改ざんされた内容などを早急に総務大臣に報告すると認識している。

情報端末の故障原因は

金子議員 情報告知端末の保守点検を今までもやっているが、故障が多すぎると思う。どのような故障が一番多いのか、そしてこの端末を利用している人はどの程度いるのか伺う。
道下地域創生室長

主な補正内容(増額分)

- 番号制度対応の機器設置委託 821万円
マイナンバー制度導入に伴う庁内ネットワークや、セキュリティシステム導入のための委託料。
- 宿泊施設Wifi(ワイファイ)構築事業 500万円
くろさき荘館内全域でインターネットが利用できる無線ネットワークの構築費用。
- 普代浜園地盛り土法面工事 621万円
普代浜北側の盛り土部分の法面を整備するもの。
- 旧普代分署庁舎解体工事 745万円
旭日区の旧普代分署の事務所部分を解体する工事。
- 普代港線排水対策工事 300万円
普代水門から海側に排水マスを設置する工事など。
- 客室空調・衛生設備等改修工事 520万円
くろさき荘の客室改修でバス・トイレ付きの部屋を3室増やす計画に多少変更があり増額するもの。
- 簡易水道修繕料 212万円
村内の簡易水道の管理用道路などの修繕を行うもの。
▶黒崎簡水の水源管理用道路修繕 ▶白井簡水の水源管理用道路修繕 ▶堀内簡水の管理用道路修繕 ▶堀内簡水の配水池修繕 ▶白井簡水の水源取水口修繕

青の 故障の問い合わせは、電波が受信できない状態になるといふ不具合が5割から6割ほどとなっている。これまで6地区、約170戸ほど調査をした結果、端末を使っていない家庭は3割となっていて、利用率の向上を図るためにも全戸調査を進めたい。

バスを青にしアピールを

金子議員 バスの購入費について、村の観光を考えていく場合

青の アピールのためにも「青の国・普代村」ということで青に塗り上げ、普代村の文字がなくても普代村と分かるようなものにするべきと思うが考え方を伺う。
道下地域創生室長 バスの購入に当たり普代らしさを全面に出すようなラッピングを予算計上している。魅力あるバスの整備を進めたい。

旧普代分署の解体は

森田議員

川向総務課長 旧普代分署の土地は、村所有の土地になっている。解体工事の坪単価は面積が約67坪で、1坪11万円程度の坪単価になろうかと思う。

副村長に 太田氏を再任



としみつ 太田 敏光氏

任期満了に伴い、現副村長の太田敏光氏(63)を再任することに全員賛成で同意しました。太田氏は2期目で、任期は平成31年9月30日までの4年間です。

問

合併は視野にあるのか

総合戦略の成果のみで想定はしない

—— 榎屋 村長

しょうじ まさとし
正路 正敏 議員

榎屋村長 人口減少が労働人口の減少、地域の活力喪失、医療・福祉・介護を支えきれない深刻な問題である。国、県の総合戦略を勘案し、本村でも地方創生「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、村版の取り組みを推進し出生率を25年後に人口が増減しない水準の2・07人まで回復させる人口ビジョンを検討している。

正路議員 これら5年間の総合戦略の成果のみで直ちに市町村合併を視野に入れることは想定されない。当面は周辺市町村、三陸沿岸自治体との協調、協働、政策効果の

郡変更の考えはないか

正路議員

現在広域行政は久慈広域と共にあると理解しているが、一部宮古広域の業務もある。人的交流、経済活動などは以前にもまして久慈地方との結びつきが強くなって

クラブ活動他中学と連携は

正路議員

中学校のクラブ活動について生徒数が減少しやりた

正路議員 現在普代村は、人口減少に歯止めをかけるべき地方創生の名の下にいろいろな施策を試みる訳だが、その先には市町村合併も視野に入っているのか村長に伺う。

榎屋村長



平成26年度の出生数22人に対し、平成27年度は大幅に減少し11月末で3人…

榎屋村長 住生活にかかわることでもあり仮に変更した場合、国の出先機関の事務、住所の表示、登記簿など職権による修正、近隣の町村との合意形成の可能性、さらに村民の皆さん、村内の諸団体、村自体の費用負担等、効果と影響などを含めた情報共有、協議し取り組みの要、不要の方向付けをしなければと考える。重要な案件であり事務的な調査などを行い検討などさせていただきます。

三船教育長

非常に難しい問題だと認識している。相手校の事情や校長の了解、移動手段の問題など、またクラブ活動が学校教育の一環であることから基本的に下校時間まで自校でクラブ活動を行うことが前提である。

普代村の魅力発信を！

特色あるイベントを実施

—— 榎屋 村長

もりた こういち
森田 幸一 議員

森田議員 村のホームページで普代の魅力を発信して産業、観光の振興につながる取り組みを行うべきではないか。

榎屋村長

自治体のホームページは、いろいろな情報をその時々発信し、地域の活性化などにも活用されている。

村でも最新の情報を見やすく、分かりやすく発信するため

平成25年4月にホームページのリニューアルを行い、見直しなどをして情報発信強化に積極的に活用している。

閲覧の件数は平成26年度13万6000件、本年度8月末までに10万件を超え、前年対比77%増でリニューアルの効果が出ている。

閲覧は観光情報、行政情報、村の様子の順。ホームページで村内21の各企業、



村の情報発信の要、「普代村ホームページ」

商店を載せている。リンク集からは5企業のホームページを見ることができ、その中の商工会のホームページでは14の企業、商店が紹介されている。今後も村の企業、商店の村内外からの購買力の維持、拡大がされるようホームページの充実、バナー広告制度（インターネット上の広告）の活用などで村の魅力発信に一層努める。

農業振興を進めるべき!!

森田議員

高齢化により農業をやめる人が多いと感じるが、新規に就農していただくなど村の農業振興策を伺う。

村長

村の農業が将来も持続し発展をとげていくには担い手の育成、確保がさし迫った重要な課題だ。村の青年就農給付金制度を活用した実績は平成24年度に1名、本年度の予定が1名で苦戦している。



村の主要作物であるホウレンソウの収穫

村には独自の支援制度として農業公社を通して就農した場合1年間の資材費など120万円の助成、住宅、農地の斡旋などもあり、昨年度2名の問い合わせがあったが成果につながっていない。

研修体制の整備は村の農家が農業公社研修者受け入れの認定を受けたので今後は研修者のサポート、支援体制の充実を進める。また村のホームページ、東京などで行われる農業人フェアなどで情報発信し、就農者確保に努め、村内農家への支援も要望を聞きながら取り組みを強める。農業で生計を立て子育てをしつかりできる安定した所得確保を目指し、引き続き価格補償強化、他産業との連携、販路開拓、新技術導入などに取り組む。



普代中学生が議会を傍聴 村の課題に熱い視線



真剣な表情で、発言者に熱い視線を送る中学生

普代中学校（佐藤嘉宏校長、生徒65人）の3年生28人は9月16日、役場3階の議会議場を訪れ、村議会9月定例会を傍聴しました。

この日、生徒たちは定例会初日の村議3人が登壇した一般質問と村側の答弁を傍聴。張り詰めた空気の中で繰り広げられる議論に肌で感じ、議会の雰囲気を感じながら、議員らに熱い視線を送っていました。

傍聴は昨年続き2回目です。村の将来を担う子どもたちに地域への関心を高めたいと企画。この2ヵ月後の11月16日には、生徒たちは自らが「議員」となり「中学生議会」を開催しました。

※11月16日の「中学生議会」の様子は次号で紹介されます。



村を想う気持ち感じた
大村 純玲さん

私が印象に残った話題は、普代中の部活動といじめ問題についてでした。こんなにしっかり話し合いがされているんだなと思いました。難しかったけど、ためになったし、こんなに長く話し合いをするんだなと思いました。村のことを思ってくれているんだと感じました。



内容の濃い議論だった
畠山 祐成さん

いじめ問題など、議員の方々が一人一人よく考えて質問していて、とても内容の濃い議論になっていました。難しい言葉もあり、分からない部分もありましたが、聞きたいことは何度も質問していて、しっかり村民の人たちのことを考えていたと思いました。



素早い質疑応答に驚き
道下 瑞葵さん

私たちには全然分からない内容が話されていると思いましたが、自分たちに関係のあることがたくさんありました。また質問者と答弁者が何度も何度も繰り返し議論をし、すぐに質問や答えを言っていたので驚きました。何度も話し合うことで深まった話し合いになっていると感じました。



いろんな意見があった
深渡 千佳さん

議会の中でよく耳にした言葉は「少子化」です。その少子化についてそれぞれいろんな意見があったよかったです。また、議事にもあったように、もっと農業にも興味をもっていこうと思いました。これから自分なりに、地域に貢献していけたらいいと思いました。

いじめ対応の対策問う

「絶対に許されない」意識で対応

三船 教育長



中上議員
今年7月に、矢巾中学校でいじめによる自殺という痛ましい事件が起きた。いじめを認知した場合の村教育委員会の対策を伺う。

三船教育長

本村では、他市町村に先駆けいち早く「普代村いじめ防止等のための基本方針」を策定した。

本村の小中学校では「いじめはどの子どもにも起こりうるものであること」を十分認識した上で、「いじめは絶対に許されない」という意識を徹底し、学校現場で取り組んでいただいている。

仮に「いじめ」を認知した場合の教育委員会の対応だが、「普代村いじめ防止等のための基本方針」に沿い、村長に報告し、必要がある場合は教育委員会に設置されている学校関係者、久慈警察署普代駐在所、久慈地区の少年補導員、民生児童委員などで対応に当たる。



3年生の授業風景。現在普代中学校は全校で65人です

中上議員
矢巾町の事件が起きた後、これまでの対応と変えた点、プラスした点などはないか。

教育長

そのことには文科省の指示もあり、県の教育委員会

からも見直しの対応をするように連絡があったが、普代小中学校では絶対の自信を持っているため、何も変えていない。

26年度、普代でのいじめ件数の報告は、小学校0、中学校2件となっている。

先生の多忙も原因では？

中上議員

学校で先生方が多忙なため気持ちにゆとりがなく、いじめを見逃す原因にもなっていないのか教育長の見解を伺う。

教育長

毎日遅くまで学校に電気がついていて。多忙の中の学級・学校経営であると思っている。これを解消するようにいろんな場所や教育事務所でも言っている。

ゆとり教育といえながら、先生にゆとりがなくなると先生が苦しんでいると自分なりに思っている。今後問題があれば発言していく。

中上議員

先生はクラブ活動も忙しい。クラブの全員加入制は岩手県の中学校99%、他県の平均は50%という。岩手県の中学2年の学力は急激に下がる。クラブ活動との

関係はどうか。

教育長

クラブ活動をやりながら一生懸命勉強する子もいる。心身練磨し、耐える力もつき頑張れる。将来自分の人生に大きく役立つ。文武両道の観点からクラブは大事と認識している。

中上議員

教育長の立場として、先生のクラブ活動へのかかわり方をどう考えるか。

教育長

クラブ活動で経験のある専門の教師がつくというのは不可能と思う。クラブ顧問は校長先生からお願いになると思うし、学校教育の一環でクラブをやっている以上、教師が責任を持つ体制がないと大変だと思う。

父兄とのトラブルなども見聞きするが、そういうことも先生の理解を得ながら進めなければならなく校長先生も苦勞していると思う。



横田 学さん
(48=白井)

メディア活用しPRを

普代駅舎にある「ふだいのアンテナショップ」に勤めて4年になります。週3回盛岡市の飲食店に鮮魚やお菓子を配達しています。最初のころは「普代はどこ？」という感じてしたが、普代フェアなどを通じて、普代の認知度、固定客も増えてきました。「待ってたよ」と言ってくれて店頭で並ぶのを心待ちにしているお客様もいらっしゃいます。でも、その店頭には良い商品がたくさんあります。その中で、他市町村や他社の売り方をみても普代はまだアピールが足りないと思います。もっと、メディアやインターネットをフルに使ってPRしてほしいと思います。



三田地 恵理さん
(34=中央区)

特産品の種類をもっと

普代に住んで7年になります。6歳と4歳と2歳の子どもがいます。上の子が来年小学校に入学しますが、普代は、子ども園、小学校、中学校とそれぞれ1校なので、子どもの友達も子ども園から中学校まで顔見知りで、とても安心できます。親同士も知り合いです。でも、習い事とか運動とか、何かやりたいといっても送り迎えが必要なので、仕事上(ガソリンスタンド)難しいものもあります。あと、友達や親戚などにこんぶ饅頭など普代の特産品を持っていったりするのですが、手頃な値段の手土産的な特産品がもう数種類あればいいと思います。

39億円を認定

決算 特別委員会

避難訓練の在り方、ごみ減量、備蓄品…

村の施策を再チェック!!

私たちは何を残せるのだろうかこの子たちのために…
😊村の未来を見据え26年度は39億円が使われました



決算特別委員会(坂下重雄委員長)は9月16日から18日までの3日間開かれ、平成26年度の一般会計予算と6特別会計予算の総額39億523万2千円を審査し、全員賛成で原案の通り認定しました。主な質疑と答弁の内容は次の通りです。

津波訓練の見直しは

熊谷委員
問 津波訓練などの現状は。また、村民の期待に答えられる体制になっているのか。
川向総務課長

のような物を何品目扱っているのか。また、今後の予定は。

佐々木商工観光対策室長
答 普代の特産品や海産物等を200品目扱っており、売上は1000万円程度である。今後については継続して自主運営ができる形に持っていきたい。

商品券の利用状況は

中上委員
問 プレミアム商品券の利用状況はどうか。また、商店にとって商品券の換金までに日数がかかるという問題はないか。
佐々木商工観光対策室長

答 避難準備情報や避難勧告の出し方などガイドラインを設け、基準を決めている。

塵芥処理費の減理由は

森田委員
問 塵芥処理費(ごみ)について減額されている理由と塵

答 プレミアム商品券については97.5%まで進んできており、もう少しで完売という状況である。(10月28日現在完済済み)
換金は1カ月ごとで、今のところそういった業者はないということである。

不納欠損の説明を

金子委員
問 不納欠損についてなぜ不納欠損にしなければならなかったのか。中身についての説明を。
横田税務出納課長

答 納税者が死亡、行方不明、住所不明などによるものである。

芥処理がどのように進んでいるのか効果と成果は。

坂下住民福祉課長
答 ごみの排出量の減量により減額したものである。塵芥処理については、リサイクル助成などを行ったりと減量化に結び付いている。

林道の開設を進めるべき

中村委員
問 林道の開設をして、村内の林家の便宜を図る考えはないか。
佐々木農林商工課長

答 複数の所有者がいると互いの許可が得られないという

太田副村長

答 国保税の滞納が増えていることは一生懸命収めている方々に対して不公平感を与えているということも事実で申し訳なく思っている。
滞納者の方とこまめに顔を合わせて納税を促していることしかないと思っている。一生懸命頑張るといふことだけは約束させていただきたい。

法事をくろさき荘で

野場委員
問 くろさき荘の食堂利用について今の法事の件数は。
佐々木休養施設管理員

答 法事の件数は26年度では27件である。

こともあり、今の状況では難しい部分がある。

太田副村長
答 林道がなければますます人が山から離れてしまうのはそのとおりだと思う。
しかし、現在具体的にどこに林道が必要だという場所は挙がっていないが、そういったのが開設できれば林業者が作業ができるようになるので全体計画が必要と思う。

アンテナショップの品目は

正路委員
問 特産品販路開拓推進事業について、アンテナショップで試験販売をしているが、ど

問 法事をくろさき荘でやりたいが少しほかと料理が違うという話題が出ている。料理の中身をもう一回考え直して努力をしていただけたらと思う。(答弁はいりません)

各家庭でも防災備蓄を

大上委員
問 防災備蓄資材費について、一般家庭に2万円を助成するとかして、その各家庭での備蓄をさせる考えはないか。
柗屋村長

答 重要性を認識したので前向きに検討させてもらう。額等については2年、3年かかるかもしれないが議会とも相談をしていきたい。

請願・陳情

陳情1件を採択

9月定例会に提出された陳情は3件でした。総務常任委員会（坂下重雄委員長）で審査した結果、1件を採択、1件を継続審査、1件を不採択とすることに決定しました。採択された陳情1件は次の通りです。

私立学校への助成拡充要望

▼陳情人：私学助成をすすめる岩手の会会長 新妻二男（盛岡市）

▼陳情の内容：私立学校は、公教育の一翼を担い学校教育の充実、発展に寄与している中、私立学校の経営基盤は、厳しい環境におかれており、保護者の学費負担は家計を大きく圧迫している。また、生徒一人当りの教育費が低いことが、教育諸条件が改善されない要因になっている。

こうした中で、教育条件の維持、向上と保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立学校の経営の健全化に資するため、運営費

をはじめとする公費助成の一層の充実を求める内容です。

また、このことに関する意見書を議員発議で提案し、全員賛成で可決。国などに送付しました。



久慈市や野田村に通う学生

「外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情」陳情人：福岡県行橋市市議 小坪慎也は不採択、「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情」陳情人：B型肝炎被害者対策東北弁護団団長 鹿又喜治は継続審査としました。

大々的に村を売り込む策を！インターを活用し活性化を！

産経委が村内視察で意見交換



漁業者と意見交換をする産業経済常任委員

産業経済常任委員会（金子泰男委員長）4人は8月24日、商店街の活性化と風評被害調査のため、村内を視察しました。

商店主や漁業者、農業者8人から現状や今後の課題などを聞き取り、皆さんからは、後継者不足や少子化、人口流出問題、さらには、震災の影響で以前よりやる気を失ったこと、個々の自

助努力も大きな問題などの課題が出されました。

一方、普代道路のインターを活用し、くろさき荘、普代浜などを活性化させ村を活気づかせることや、商店ばかりではなく、村そのものを大々的に売り込む情報発信が必要などの意見が出されました。同委員会で、内容を要約し議長に報告書を提出します。

第6回臨時会（9月4日）

給食センター 2950万円増額



工事が進む給食センター（鳥居地区）

村議会第6回臨時会が9月4日

開かれ、一般会計補正予算、行政情報告知施設と情報連絡施設の設置条例の一部改正、東京電

力福島第1原発事故で同社に求めていた損害賠償の和解案など4議案が提出され、全員賛成で可決しました。

補正予算では、歳入歳出に2950万円を増額し総額31億9502万9千円にしました。歳出は、資材の高騰などに伴う学校給食施設整備工事に2950万円を増額しました。同工事は、8月6日に入札を行いました。落札にならなかったことから、設計などを見直し、工事費を増額したものです。東京電力とは、原子力損害賠償紛争和解センター（東京都）に申し立ててい

第8回臨時会（9月30日）

給食センター 約2億円で契約

村議会第8回臨時会が9月30日開かれ、学校給食センター建設に係る工事請負契約の締結や財産取得案など3議案を可決し、閉会しました。

た食品放射能検査装置購入費など計402万円について、271万円の支払いで和解しました。給食センターの厨房機器7620万円とスクールバス1台分の1559万円で、学校給食センター建設にかかる落札内容は次のとおりです。

- ▼工事名：学校給食センター建設（建築、機械設備）
- ▼工事場所：鳥居地区
- ▼契約金額：2億520万円
- ▼請負者：株式会社新田組（久慈市）

議会の主な動き

議員が出席した会議や研修会、行事などを報告します。（7月24日～10月31日、抜粋）

7月 ▶24日・全農乾椎茸品評会・全国乾椎茸品評会報告会（くろさき荘）▶27日・久慈消防署普代分署新庁舎落成開署式（緑区）▶29日・普代浜園地安全祈願祭（普代浜）

8月 ▶4日・戦没者追悼式（英霊塔前）▶10日・漁港検診（太田名部漁港）▶17日・市町村要望（役場）、議会全員協議会（同）▶24日・産業経済常任委員会村内視察（村内）▶28～30日・ふだいまつり（村内）

9月 ▶4日・議会全員協議会（役場）、議会運営委員会（同）、村議会第6回臨時会（同）▶11日・議会運営委員会（役場）▶12日・うねとり荘敬老会（うねとり荘）、八戸・久慈自動車道整備促進住民大会（久慈市）▶16～18日・村議会第7回定例会（役場）▶19日・第9回岩手県沿岸市町村復興期同盟会総会（陸前高田市）▶23日・宮沢賢治「敗れし少年の歌へる」詩碑建立十周年記念式典（まついそ公園）、宮沢賢治「発動機船一」詩碑建立除幕式（黒崎展望台）▶24日・村敬老会（社会体育館）▶26日・はまゆり子ども園運動会（社会体育館）▶27日・普代村総合防災訓練（村内）

10月 ▶1日・久慈地区市町村議会連絡協議会定期総会（久慈市）▶4日・海フェスタ in ふだい（太田名部漁港）▶8日・産業経済常任委員会（役場）▶9日・リアス・ハイウェイ早期実現大船渡大会（大船渡市）▶19日・議会全員協議会（役場）、議会広報常任委員会（同）▶24日・普代小学習発表会（普代小）、普代中文化祭（普代中）▶25日・ふるさと普代会（東京都）▶26日・議員視察研修（栃木県）▶31日・中学生の「税についての作文」表彰式（管理センター）、第34回村交通安全村民大会（同）

※そのほか、岩手県市町村議会議長会主催の研修会、岩手県沿岸知的障害児施設組合例月現金出納検査、久慈広域連合議会などに、各議員が出席しています。

■食の魅力発信！

普代人が愛する、普代の食

フードアイ
Food 愛

普代に来てまた一つおいしい体験をしました。茶碗いっぱいに乗せたイクラを堪能。しかもただで。このおいさを教えたくて、普代に遊びに来た女子大生にメスサケを贈ったら、学食でさばいてもらって食べたそうです。イクラもたくさん入っていたと、とても喜んでいました。今、普代はサケ漁真っ盛り。「ふるさと納税」の返礼品にはイクラも用意されていますので、ぜひ、普代の海の宝石をご賞味ください。

文／地域おこし協力隊

おにつか たくや
鬼束 拓哉さん (34)



塩いくら

提供／金子 太一さん (黒崎)



V O I C E
未来予想図 Fudai

料理を習いたい!!

普代小5年 道下 歌乃さん

普代は海産物おいしいと思います。私はすき昆布で作った煮付けや昆布ひつまが大好きです。料理をお母さんやおばあちゃんから教えてもらって作れるようになります。

村の人たちはみんなやさしいし、あいさつしてくれるのでうれしいです。はまゆりマラソン大会で走っているときに声を掛けてくれて、頑張ろうという気持ちになりました。スポーツはテニスを頑張ります😊



野球、頑張りたい!!

普代小5年 正路 颯太郎君

朝、学校に行く途中とか、休みの日に遊んでいるときでも、あいさつをすれば村の人たちがあいさつを返してくれます。とても気持ちがいいです。あと、普代はワカメや海の特産品が全国に知られていて、おいしいと思います。

おばあちゃんのところに行ったときは普代駅の近くの公園で遊んでいます。僕のお気に入りの場所です。スポ少で野球をやっているので上手になりたいです😊

委員長	森田 幸一
副委員長	中正 路正
委員	嵯峨 典行

議会広報常任委員会

▼今年はずけ魚が近年にない不漁だとか。12月に大漁が続くことを願います。
(嵯峨典行)

▼森田委員長の下、新たな体制で協力してより早く情報を住民の皆様へお届けする努力をしています。
(中上一登)

▼今回の議会広報も無事に発行できました。今年の秋は長く、紅葉も例年よりきれいに感じました。落葉でのスリップ、運転には十分気を付けてください。
(正路正敏)

▼今回の議会だよりから委員長の大役を仰せつかりました。今後も皆さんに見ていただける議会だよりを目指し、4人で力を合わせお届けしてまいります。よろしくお願いたします。
(森田幸一)

あ
と
が
き

